



# 寅さんと笑点をこよなく愛する 粹でいなせな 異文化コミュニケーション学徒

原 和也 准教授

## ■ 自己紹介

私の専門分野は、コミュニケーション論(異文化と対人)です。授業で扱う分野は多岐に渡りますが、その中でも、私自身が最近楽しみながら学んでいるのは、コミュニケーション論特講 I-a のテーマである「非言語コミュニケーション論」です。ここで、日常のコミュニケーションについて考えてみましょう。あなたは、声や表情から相手の感情をどの位読み取っていますか。写真を撮る時にVサインをしたことがあるかもしれませんが、なぜ「ピース」とも言うのでしょうか(英国では手の甲を相手に向け提示したら、侮辱のサインとして受け取られます)。照れ隠しの際、なぜ頭を掻いてしまうのでしょうか。ふと考えてみると、意識的あるいは無意識的におこなっているしぐさが結構あるものです。また、会話において、どの位の対人距離が快適でしょうか。体のどの部分をタッチし、また避けるでしょうか。間や沈黙にはどのような意味が込められているでしょうか。私の授業では、身体動作、顔の表情、視線、周辺言語、沈黙、身体接触、対人距離、時間、色彩、衣服や装飾品のメッセージ性について学び、フィールドワーク調査も行います。理論的なことを学ぶだけでなく、体験型のエクササイズや、自己分析課題を通じて、人間の行動と心理のメカニズムに迫っていきます。そして、異文化コミュニケーションにおいて不要な誤解を招かないよう、注意すべき点もお伝えします。授業を通じて様々な「気づき」を経験し、自己を理解し、他者への共感意識を高め、バランスの取れたコミュニケーション能力を育成しませんか。